

SEIKO power design project

「パワーデザインプロジェクト」は、セイコーウオッチのデザイナーが主体となって挑戦に取り組んでいるプロジェクトです。2001年に発足し、2009年まで続いた「パワーデザインプロジェクト」は、2022年に13年ぶりに復活し、現在に至るまで続いています。この試みは、セイコーのウオッチデザイナーが、腕時計の楽しさや面白さに様々な観点から光を当て、時計の本質とともに探究し、斬新なアイデアを生み出すことを目的としています。

TSS21H

JA 1

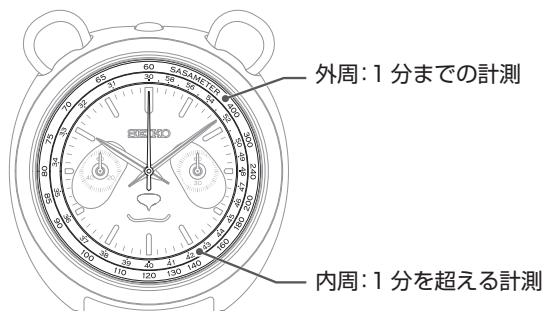
■ SASAMETER

タキメーター(TACHYMETER)をバンダの好物にかけてササメーター(筈メーター/SASAMETER)と表記しました。使い方は通常のタキメーターと同様です。

本モデルは、1分以上の計測を目的とした目盛表記になっています。

- 1分までの計測は、SASAMETERの外周の数字を読み取ります。
- 1分を超える計測は、SASAMETERの内周の数字を読み取ります。

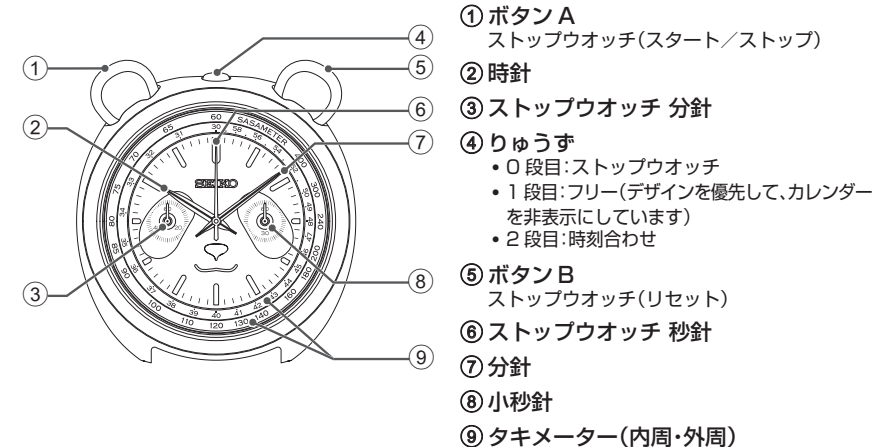
仮にバンダが全速力で2分間走った場合、バンダの最高時速と言われている時速30キロが計測できます。



JA 3

■ Seiko power design project collection 2 / セイコー パワーデザインプロジェクト コレクション 2

キャリバー 8T61 のレイアウトを変更しており取扱説明書に記載されているりゅうず、ボタン等の位置が異なります。下図をご参照の上、取扱説明書をご確認ください。



JA 2